

令和7年度 夏尾・御池地区 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立夏尾中学校 都城市立夏尾小学校		校長名	伊地知 憲文 川越 次代	
学級数	3 (中) 3 (小)	児童生徒数	24名 (中) 26名 (小)	職員数	10名(中) 7名(小)
教育目標	〈夏尾中〉学ぶ意欲をもち、心身ともにともにたくましく、主体的に自分の未来を切り拓く生徒を育成する 〈夏尾小〉夢をもち、自ら学び続ける子どもの育成				

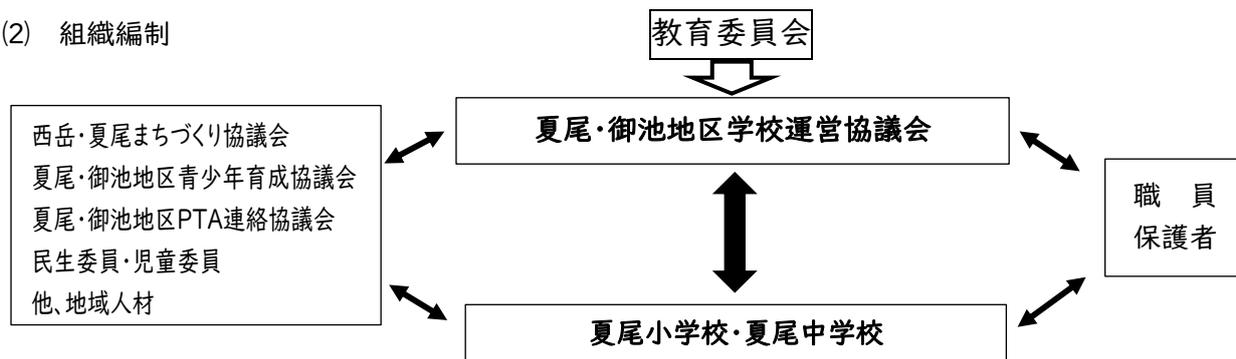
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員 (計8名)・事務局 (計6名)

No.	所属名 (役職)	氏名	備考
1	馬渡地区自治公民館長	出水 富雄	会長
2	牛ノ脛地区自治公民館長	大村 和男	副会長
3	元夏尾地区保護司	寺崎 量子	
4	主任児童委員	大村 由美子	
5	夏尾地区代表	瀬口 雅文	
6	御池地区代表	長井 義幸	
7	夏尾小PTA副会長	泊 千補	
8	夏尾中PTA副会長	白谷 篤	

役職	氏名
夏尾中校長	伊地知 憲文
夏尾小校長	川越 次代
夏尾中教頭	岩切 隆宏
夏尾小教頭	橋谷 敏治
夏尾中教務主任	桑畑 新也
夏尾小教務主任	楠原 翔太郎

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
4月初旬	・学校運営協議会委員の人選・推薦
5月17日	・小中合同運動会参観・参加
6月5日	・第1回学校運営協議会 (委任状交付・趣旨説明・学校経営方針説明・年間計画)
6月15日	・クリーン作戦支援
7月8日	・第2回学校運営協議会 (小学校授業参観・学校評価・クリーン作戦報告・地域人材の活用)
7月14日	・交通安全啓発活動・あいさつ運動支援
9月22日	・交通安全啓発活動・あいさつ運動支援
10月9日	・第3回学校運営協議会 (小学校授業参観・夏尾小の教育活動)
10月12日	・第3回学校運営協議会 (学習発表会鑑賞・学習発表会の感想)
12月18日	・第4回学校運営協議会 (中学校授業参観・学校評価自己評価報告)
12月19日	・門松づくり支援 (小学校)
12月22日	・交通安全啓発活動・あいさつ運動支援
12月24日	・門松づくり支援 (中学校)
1月中旬	・グリーティングカード配付支援
2月16日	・第5回学校運営協議会 (中学校授業参観・学校評価報告書・次年度へ向けて)
3月	・次年度への引継ぎ

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

7月：「地域人材の活用について」

小学校・中学校、それぞれ地域の方々の協力をいただいで様々な行事を行っている。しかし、高齢の方も多く、今後も継続していけるか心配な面もある。持続可能な取組となるよう幅広く地域人材を活用できるよう協議を行った。

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

学校運営協議会の中で、市内各地から通学する小規模特認校の特性を踏まえ、「児童生徒にこの地を『故郷』と感じてほしい」「児童生徒や保護者が地域と深く交流する機会を設けてほしい」等の意見が出された。学校運営協議会の委員である自治公民館長や民生委員の方を通して協力していただける方を募り、学校の教育活動への支援をしていただいている。



【小中合同クリーン作戦】



【グランドゴルフ大会】



【門松づくり体験】



【ひな人形展示】

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

【夏尾小学校】

子どもたちの熱中症対策について話題になった。夏尾小では、熱中症対策と児童の運動時間確保のために、7月～9月の期間『サマータイム』を導入した。昼休みを分割し、比較的過ごしやすい朝の時間（8：10～8：30）に運動ができるよう時間設定を行った。児童には大変好評で、活動する時間を確保することでストレス軽減につながり、熱中症対策も図ることができた。



【サマータイムの様子】

【夏尾中学校】

学校運営協議会の中で、学校全体の雰囲気明るくなったと話題になった。夏尾中では、「生徒が主役の授業」を展開するために、表現力育成に力を入れている。日々の授業改善はもとより、6時間目終了後、20分間の『STU（ステップアップタイム）』の時間を設定し、「SST（ソーシャルスキルトレーニング）」や「表現活動」を行っている。生徒のコミュニケーション能力の向上につながっている。



【SST】

(3) 地域貢献活動

- 夏尾・御池地区内の小規模特認校の看板と自治公民館の清掃
- 交通安全啓発活動やあいさつ運動
- 御池青少年自然の家『やまびこ祭』ボランティア（中学校）・奴踊り（小学校）
- 西岳地区ふれあい文化祭参加（小中合同：奴踊り・中学校：西岳中と合同合唱）
- 赤い羽根共同募金ボランティア活動（中学校）
- 地域の方宛のグリーティングカードの配付

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 学校運営協議会が「学校と地域との繋ぎ役」となり、地域の方々に声をかけていただくことで、子どもと地域の方々が交流することができた。
- 小学校・中学校、それぞれ地域の方々の協力をいただいで様々な行事を行っているが、高齢の方も多く、持続可能な取組となるよう検討する必要がある。

7 次年度の方向性

- 学校が地域に貢献できること、地域が学校に支援できることを学校運営協議会の中で熟議していく。
- 地域人材のさらなる活用を推進する。